

「伝える力」・「プレゼンテーションスキル」を磨こう！

家庭クラブ全国研究発表大会を通して多くの事を学ぶことができました。今後の家庭クラブ活動やFRH探究活動でいかすことができる「伝える力」、「プレゼンテーションスキル」について、ご講評いただいた内容から抜粋して紹介します。



【学校家庭クラブ研究発表 全研究発表校のみなさんへ】（講評より抜粋）

今回の発表では、学校の置かれている地域の今日的な社会状況を鋭くとらえており、大人でも難しい課題に高校生が斬新なアイデアを出して地域を支えようと果敢に取り組んでいるパワーを感じました。素晴らしい内容のものが多く、審査員一同、大変感動致しました。

今後の課題。アンケート調査を実施しその結果を発表する際には、いつ実施したのか、調査対象はどのような人で何名に実施したのか、インタビュー調査用紙やどのような調査方法で実施したのかを示すようにしてください。また、活動の様子を写真などで示す際にも、撮影日時を示し、時系列が明確になるようにしてください。発表する際には、聞き手に何を伝えたいのかを明確にしたプレゼンテーションを意識することが大切です。発表を聞く側にどうしたら伝わるのか、その見せ方を工夫し相手に伝えるための分かりやすいスライドを工夫して欲しいと思います。

家庭クラブ研究活動を推進するにあたり、プレゼンテーション原稿やスライド作成のご指導をいただいた宇佐見将太氏より、メッセージをいただきました。ご紹介します。



コロナ禍や経済の悪化、超少子高齢化、いろんな課題を抱えているいまの日本。そんななかでみなさんが活躍していくには、これまで以上に「プレゼン力」が求められています。それは単に話すのが上手いとか、資料を綺麗につくる力ではありません。さまざまな情報や課題を自分ごとに捉えて整理し、自分の考えやアイデアを伝えて人や社会を動かしていくチカラ、それこそがプレゼン力です。家庭クラブの皆さんは、毎週集まってそんな力を磨いていたのです。

この経験を生かして、これからもっともっと活躍してくれると期待しています！
約1年半、みなさんと一緒に母校でまた青春を味わえて僕も本当に楽しかったです。ありがとうございました！

2年間で指導いただいた宇佐見さんへ。

パソコン操作が苦手な私も宇佐見さんのおかげでたくさんのプレゼンスキルを身に付けることができました。今回の受賞は、私たちの力だけではなく、宇佐見さんのサポートのおかげだと本当に感謝しています。いつも私たちに寄り添い、ご指導下さりありがとうございました。本当に楽しい時間を過ごせました。 研究チーム一同

